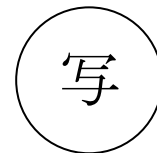


令和5年（2023年）1月27日開会

令和5年（2023年）第2回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 令和5年1月27日（金）第2回教育委員会定例会を南館6階会議室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	前 川 佳 之
委 員	堀 村 佳奈子
委 員	堀 井 孝 容
委 員	水 上 明 美

◆ 本委員会に出席した者

教 育 総 務 部 長	小 田 佐衣子
教 育 政 策 課 長	辻 田 新 一
社会教育振興課長	吉 崎 幸 司
社会教育振興課参事	高 橋 陽 介
中 央 図 書 館 長	吉 田 典 子
学 校 教 育 部 長	青 木 次 郎
学校教育推進課長	梶 西 学
学校教育推進課参事	大 池 輝 暢

◆ 署名委員

委 員	堀 井 孝 容
-----	---------

(令和5年1月27日(金)、午後2時00分)

議事日程 (令和5年第2回茨木市教育委員会定例会)

(於：南館6階会議室)

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5	2	令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について	
6	3	茨木市中央公民館運営審議会委員の委嘱について	
7			
8			
9			
10			
11			

(1 4 時 0 0 分 開 会)

岡田教育長

ただいまから令和5年第2回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席者は5名でありまして、会議は成立いたしております。

それでは、これより本日の会議を開きます。

日程第1 「会議時間の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本日の会議時間は午後4時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本委員会の会議時間は午後4時までと決定いたします。

日程第2 「会議録署名委員指名について」。

本件は、茨木市教育委員会会議規則第17条の規定により、堀井委員をご指名申し上げますので、よろしく願いいたします。

日程第3 「会議録の承認について」を議題といたします。

「令和4年第12回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」について、お諮りいたします。

異議はございませんか、よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「令和4年第12回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」については承認することといたします。

日程第4 「諸般の報告」を行います。

小田教育総務部長が報告

岡田教育長

それでは、以上の報告について、何かご質問はございませんか。

前川委員

5つ目の次代を担う若者世代との未来ミーティングについて、お伺いします。これについては去年はなかったと思うので、恐らく初めてなのかなと思うのですが、誰の発案で、どういう趣旨で、このミーティングを実施するようになられたのか、趣旨なり、経過も含めてご説明ください。

梶西学校教育推進課長

まず、実施ですけれども、昨年もございまして、今年度も昨年度に引き続きということですが、経緯につきましては、平成27年から小学生が市政に関して調べた学習内容を発表するというところからスタートしまして、平成29年からは中学校の生徒会交流会というような形で本事業というか、この取組を、市民生活相談課とともに進めているところでございます。

以上でございます。

前川委員

分かりました。ということは、来年度以降も引き続き実施をされるということでしょうか。

梶西学校教育推進課長

中身については未定ですが、おおむねその方向性でというふうに考えております。

以上でございます。

小田教育総務部長

市民生活相談課の未来ミーティングという、そのような事業という意味も含めておりますので、継続であるかということはそちらのほうで決定される部分もあると思います。

岡田教育長

ほかはどうでしょうか。

堀井委員

同じく5番の未来ミーティングで、市長が参加されたということですが、何か市長はお話しされましたか。

梶西学校教育推進課長

はい、市長のほうからも、子どもたちのプレゼンに対する意見というのはいただいております。具体には、今年度のテーマにつきましては、おにクルに何度も市民の方に来ていただくための何か企画を中学生がプロデュースするというものでしたので、各グループに分かれてのプレゼンに対して、市長の率直な意見をいただいたというものでございます。

堀井委員

ありがとうございます。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

堀村委員

6番のいじめ不登校シンポジウムですけれども、スーパーバイザーやアドバイザーの方の講評とかまとめでおっしゃった内容を、もう少し具体的に教えていただきたいなと思います。

梶西学校教育推進課長

このスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーが実際に、このいじめ不登校シンポジウムのほうに出席していますので、スクールカウンセラー・スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカーのアドバイザーからですね、このカウンセラー

とソーシャルワーカーの専門性の違いや、またその役割、そしてこのケース会議等での役割というか活用の方法について説明を行ったというものでございます。

堀村委員

ありがとうございます。

岡田教育長

ほか、どうですか。

水上委員

すみません、ちょっと戻るのですが、次なる未来ミーティングについて、中学生が各校から2人参加して、参加人数が42人ということですが、各中学校からプレゼンがあって、主にどういう内容で、この後ですね、これが終わってからどのような方向性で、市としては受けとめておられるのでしょうか、教えていただけますか。

梶西学校教育推進課長

14校から各2名の中学生が来まして、その後、中学校ごとではなく、いろんな中学校ごとのグループを複数つくりまして、そのグループから、おにクルに市民の方に来てもらうための企画をプレゼンしたというのですが、その中で、あるグループからは市民の方がリサイクルするものをおにクルに持ってきて、持ってきてくれた方には大きな巨大ガチャというふうに、子どもは言っていたのですが、巨大ガチャポンを回してもらって、何か市の取組の優先チケットのようなものをもらうとかいうような企画を発表していました。それに対しては、そのほかの意見に対してもそうですけども、できる限り子どもたちが考えた意見を実際に取り入れて、それを実現させていきたいというふうに、そういう方向ではそこでも回答してもらったところでございます。

水上委員

せっかく子どもたちがいろいろと考えて企画しているものなので、実現できたら子どもたちの自信にもなるかなと思いますので、よろしく願いしていただきたいと思っています。

前川委員

今の質問に関連してなんですが、実際にはこの市民会館跡地活用推進課がそういった企画の実現に当たるのでしょうか。

梶西学校教育推進課長

はい、恐らく市民会館跡地活用推進課をはじめ関係課もここに来て、子どもたちのプレゼンを聞いておりましたので、いろんなエッセンスであったり、そういった意見を取り入れるというようなことで考えているというふうに聞いています。

前川委員

分かりました。水上委員もおっしゃっているように、子どもたちの提案を、言いっ放しじゃなくて、ぜひとも具体化していただいて、それをまた中学生たちにぜひフィードバックですね、実際に実現したというようなことを発信のほうもぜひよろしくお願いしたいと思います。

岡田教育長

ほかにございませんか。

堀村委員

2番の青少年による青少年のためのイベントですけれども、これも高校生とか大学生が小学生を対象に教えていただけるということで、高校生、大学生にとっても、小学生にとっても意義あるイベントだなと思って、毎年見ております。この参加された高校とか大学ですけれども、ちょっと限られているのかなと思うのですが、どういふふうに参加される大学のほうは手を上げておられるのでしょうか。

吉崎社会教育振興課長

この青少年のイベントの学校の選定に関しては、従来、追手門学院大学、立命館大学にご協力いただいております。去年、高校のほうは追手門学院高校だけでしたが、今年、早稲田摂陵高校ということで、年々規模を拡充していくというつもりではおり

ます。

堀村委員

分かりました、ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、「諸般の報告」を終わります。

議事の途中であります、暫時休憩いたします。

休 憩（14時13分）

再 開（14時14分）

岡田教育長

それでは、再開いたします。

日程第5 議案第2号「令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について」を、
議題といたします。

事務局の説明を求めます。

青木学校教育部長

議案第2号につきまして、ご説明いたします。本件は、令和5年4月18日に実施される令和5年度全国学力・学習状況調査について、本市教育委員会及び小中学校の参加を決定するものであります。

今年度からの主な変更点について、別紙実施要領をもとに説明させていただきます。別紙のほうをご覧くださいませでしょうか。

別紙実施要領の今年度からの変更点ということで、まず1点目といたしまして、1ページの一番下、4ですね、調査事項、その（1）のアで示されております教科に関する調査というのがございます。小学校は国語と算数、中学校は国語、数学及び英語とすとなっておりますが、この英語につきましては3年ごとの実施という形になっ

ておりまして、次年度が該当年度となります。これが今年度との変更点の1つ目になります。

2点目はですね、ページを進んでいただきまして3ページの中段下あたりになります、7になりますが、ここに書かれておりますように、中学校の英語のうち、「話すこと」に関する調査の実施にかかる特例的な措置ということで、ここに示されておりますとおり、英語の「話すこと」に関する調査はICT端末、いわゆるGIGAスクール構想で1人に1台端末が配られておりますけども、その端末を活用して、文部科学省CBTシステムを用いたオンラインの音声録音方式で実施されることになっております。

この2点が、今年度のテストからの変更点という形になります。

本市教育委員会といたしましては、第5次5か年計画「茨木っ子ネクストプラン プランネクスト5.0」に基づく取組の成果と課題を検証するため、全国学力・学習状況調査を引き続き活用していきたいと考えており、来年度につきましてもこの令和5年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領に基づき全小・中学校が調査に参加することをご提案申し上げます。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

岡田教育長

事務局の説明は終わりました、これより質疑を行います。

前川委員

先ほど説明がありました英語の「話すこと」に関する調査ですが、12ページを見ていると、4月18日から5月26日の間で実施というふうになっているのですが、これは具体的にはどういう形で調査をされるのでしょうか。

大池学校教育推進課参事

「話すこと」調査の実施の流れでございますが、事前に設定した期間内に各学校が行う予定となっております。文科省が指定した当日、4月18日、調査当日に実施する学校もありますが、それ以外の学校につきましては、その期間で指定された日程で「話すこと」調査を実施するという形になっております。

前川委員

例えば、ヒアリングでは、みんな一斉に聞いて回答できると思うのですが、「話すこと」の場合、みんなが教室の中で一斉に回答するというのは、どうもイメージがわからないので、そういう意味で、ある程度分散して、この間に実施をするのかなというふうに、私は勝手に想像していたのですが、そのあたりはどうでしょう。

大池学校教育推進課参事

そのような形で、やはり教室で全員が一斉にということは難しい調査の形態になっておりますので、複数、部屋を決めて、待機室と実施する部屋というふうにクラスを3つに分けて、1チームずつ順番に実施していくというような形を想定しております。調査自体は、準備、移動もあわせて15分程度を見込んでおりますので、そういった形で1時間の中で行っていくという形になるかと考えております。

水上委員

この「話す」ときの課題ですよね、こういうことについて話してくださいとなると思いますが、それって時差があるので、例えば1人の生徒と同じなのかどうかですね、課題が同じなのかどうか、全て。

大池学校教育推進課参事

同じ課題というふうに聞いております。英語で聞かれたことに対して答えるというような「話すこと」調査というふうに確認しております。

水上委員

そうすると、終わった生徒が次の待っている生徒に情報を流すことも考えられない点はないでしょうか。多分、そのあたりの配慮はされているとは思いますが、ちょっと教えていただきたいと思います。

大池学校教育推進課参事

今回のこの「話すこと」調査は、その日に全ての、全国的にも全ての児童、生徒が一

齊にテストをするというわけではないので、やはりその問題をどうするのかというところは、文部科学省のほうでもいろいろ検討はなされているということは聞いております。現段階では同じ調査問題を同時にやるという形で、できる限り、前にやった生徒が次の生徒にという可能性も、やはり注意としてはしていく必要はあると思います。なかなか100%徹底というところは難しい問題かもしれませんが、形態としてはそういう形で進めていくというふうに聞いております。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

堀井委員

これ、不参加になった年ってありますか。

大池学校教育推進課参事

本市において不参加であった年はございません。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。

堀村委員

大阪府の教育委員会がやっている、小学生、5年生、6年生のすくすくウォッチもあると思うのですが、すくすくウォッチのほうはいつ実施されるのでしょうか。

大池学校教育推進課参事

次年度においても、この全国学力・学習状況調査と同時期に実施する予定にしております。

堀村委員

じゃあ、6年生は同じ日に学力テストとすくすくウォッチを受けられるということですか。

大池学校教育推進課参事

そうですね、学校によって重なるところもありますし、期間を決めておりますので、その周辺の期間で行うという形になるかと思います。

堀村委員

なるほど、分かりました、ありがとうございます。

岡田教育長

ほか、どうでしょうか。よろしいでしょうか。一応、英語が増えるということで、「話すこと」、スピーキングが初めて入っています。採点をどうするのかちょっと分かりませんが、今後、公立高校の入試とか、大学の入試もこのあたりは入ってくるというふうに聞いています。小学校から英語は入れていますけど、英語嫌いもつくっているといううわさもちょうど聞いたりしていますから、どの時期にどんなやり方でやるのが一番いいのか、また考えていかねばならないなと思いますが、一応、英語、スピーキングが入るということは新しいことで、これからの色々な評価はね、終わってからの評価があると思います。これでよろしいですか。

それでは、お諮りいたします。質疑を打ち切りましても、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、質疑を打ち切ります。

ただいまより各委員の賛否及び意見を求めます。参加することよろしいですか。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は、原案に対して賛成であります。

本件は、原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議事の途中でございますが、暫時休憩をいたします。

休 憩 (14時25分)

再 開 (14時26分)

岡田教育長

それでは、再開いたします。

日程第6 議案第3号「茨木市中央公民館運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。

前川委員

本議案は人事案件ですので、非公開をお願いします。

岡田教育長

ただいま前川委員から非公開の動議が提出されましたが、本件を非公開とすることに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本件につきましては非公開といたします。

<非公開>

岡田教育長

それでは、ただいまより各委員の賛否及び意見を求めます。これでよろしいですか。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は、原案に対して賛成であります。

本件は、原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしました。

令和5年第2回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

(14時28分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

令和5年1月27日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 _____

署 名 委 員 _____

令和5年第2回茨木市教育委員会定例会事務報告

令和4年12月3日～令和5年1月13日

	月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
①	12月10日 (土)	子どもセミナー (クリスマスリースを作ろう) (参加者：26人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
②	12月17日 (土)	青少年による青少年のためのイベント (参加者：295人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
③	12月10日 (土) 12月17日 (土)	子ども向け工作等行事 (参加者：40人)	中条図書館、水尾図書館	関係職員	中央図書館
④	12月3日 (土) ～ 12月18日 (日)	こども会冬の行事お手伝い (参加数：25こども会)	上中条青少年センター他	関係職員	社会教育振興課
⑤	12月22日 (木)	次代を担う若者世代との未来ミーティング (参加者：42人)	市役所南館10階大会議室	市長 関係職員	学校教育推進課
⑥	1月5日 (木)	いじめ不登校シンポジウム (参加者：109人)	市役所南館10階大会議室	教育長 関係職員	学校教育推進課
⑦	1月7日 (土)	第54回こども会親善百人一首カルタ競技大会 (参加者：101人)	上中条青少年センター	関係職員	社会教育振興課
⑧	1月9日 (月・祝)	令和5年(2023年)茨木市二十歳のつどい (参加者：1,716人)	立命館いばらきフューチャープラザ	市長 教育長 教育委員 関係職員	社会教育振興課
⑨	12月3日 (土) ～ 1月13日 (金)	おはなし会 (開催回数：27回 参加者：899人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書館